

# 交渉速報

J R 貨物労組本部業務部

2013年5月29日

No.23

夏季手当第3回交渉

## またも交渉中断!

### 役員体制は「業務を円滑化に遂行するため」との回答に終始

中央本部は本日9時から、昨日中断した「夏季手当第3回交渉」を再開し、役員体制の根拠について会社の回答を求めました。しかし会社の回答は、昨日から進展がなく、会社の再考を求めて再び交渉を中断しました。

#### 【主な交渉内容】

組合：役員人事の根拠を明らかにされたい。

会社：役員人事は社長を中心として業務を円滑に遂行するためである。本社は本部制を採用しており、各部に取締役を配置し責任を明確にした。

組合：この回答では説明責任を果していない。何故、専務を3名とする体制としなければならないのか明確にすること。不誠実な回答に終始するのであれば、我々は「経営改革」を会社自らが放棄していると判断せざるを得ない。信義誠実の原則に従って交渉を進める意思があるのであれば再考をすべきだ。

会社：信義誠実の原則は認識している。持ち帰り検討し、改めて回答を示す。

平成25年度は、JR貨物にとって存続をも左右する分水嶺の年です。全社一丸となって奮闘しなければならないにもかかわらず、その最先頭である会社経営陣が役員体制について説明が出来ませんでした。このことは、収入拡大をはじめとした戦略・体制、そして将来ビジョンの策定が曖昧であると言わざるを得ません！社員には厳しく、自らには甘くという、これまでと同様の経営姿勢が今回の役員人事に表れています。

中央本部は、この役員人事を含め本社体制のスリム化など、経営陣が骨身を削り、汗をかくことを求めて交渉等を強化します。

これまでと何ら変わらない経営姿勢をただす闘いを、全職場から創造しよう！

以上